八王子こどもレファレンスシート

# 八王子空襲



▲空襲をうけた八王子の街並み(昭和20年10月　斉藤五郎氏撮影）市指定文化財



▲現在の八王子市街

八王子の市街地は今、たくさんのビルがたてられ、多くの人々でにぎわっています。こんな八王子にも、昭和20年、空襲がありました。空襲って何だかわかりますか？空襲は、空から爆弾や焼夷弾などを落とし、地上を攻撃することです。八王子空襲で市街は焼け野原となり、たくさんの人が亡くなったりケガをしました。地方都市の空襲の中でも、八王子空襲による被害は特に大きかったといわれます。

## 太平洋戦争の始まり

昭和6年(1931年)に、日本軍は中国東北部の満州の大部分を占領し(満州事変)、満州国を作らせます。国際社会から批判を受けた日本は国際連盟を脱退し、軍国主義の動きが高まっていきます。昭和16年(1941年)12月8日に、日本軍はハワイの真珠湾にあるアメリカ海軍基地を攻撃しました。日本はアメリカ・イギリスに宣戦布告し、太平洋戦争が始まります。

開戦してまもなく、日本は東南アジアの各地から南太平洋の島々まで広大な地域を占領しますが、アメリカなど連合軍の反撃が始まると、戦局はしだいに不利になっていきました。

## 予告される八王子空襲

太平洋戦争末期の昭和20年(1945年)に入り、日本の東京、大阪、名古屋、神戸、横浜などの大都市が空襲を受けると、アメリカ軍は今度は中小都市を爆撃する作戦を進めました。この中で八王子も攻撃目標とされていたことは、アメリカ軍が空からまいた伝単とよばれるリーフレットによって、予告されていました。伝単は、空襲直前の7月31日、8月1日にもまかれ、いよいよ空襲があるかもしれないということが、人々の間に広まりました。8月1日、この日は空襲に備えて昼間から八王子市街から離れた親戚の家に避難したり、家財などを防空壕に運びこんだりする人もいました。甲州街道には、東京から応援の消防車も配備してありました。

## 空襲が始まる

空襲警報は昭和20年(1945年)8月1日の午後8時55分に出されました。しかし、午後11時頃川崎方面に爆弾攻撃を行っているという情報もあり、多くの人は今夜は八王子は空襲されないと一安心し、避難先から戻ったりして、眠りにつきました。

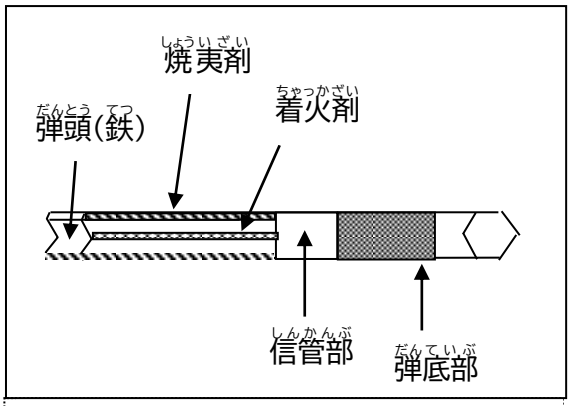
ところが安心したのも束の間、169機もの米軍爆撃機B29 が突然八王子の町を襲ったのです。第一弾は万町の中山製麦所付近に焼夷弾が落とされ、少し遅れて下長房(現長房団地内)にあった東京陸軍幼年学校に落とされました。八王子の中心部を取り巻くように次々に爆撃されていったのです。その後、まちの中心部にも焼夷弾が集中投下され、またたくまに全市に火が燃え広がりました。雨あられのように焼夷弾が降ってきて、とても消火どころではありません。米軍資料ではM47焼夷弾の投下を始めたのは、2日の午前零時45分でした。2日の夜明け前にかけて、空襲は約2時間近く続きました。たくさんの焼夷弾でまちが

火の海となり、たくさんの人が焼け死に、たくさんの家や建物が焼かれました。

落とされた焼夷弾の量は1,600トンといわれています。メラメラと燃え上がる炎、ガラガラと燃え落ちる建物、逃げまどう人々、親子で呼び合う声、助けを求める声・・・。当時八王子の近くに住んでいた人は「夜空が真っ赤にそまった」と話します。

## 空襲に使われた焼夷弾

八王子に投下された焼夷弾は、ほとんどがM17集束焼夷弾と呼ばれたもので、M50小型エレクトロン焼夷弾110本を集束したものでした。




**▲M50小型エレクトロン焼夷弾**
重さ約1.6キログラム、長さ約54センチメートル、鋼鉄などでできています。8月2日には 約67万発が投下されました。多くの建物が焼けただけでなく、この焼夷弾の直撃で亡くなった方も大勢いました。

## まち一帯は焼け野原

B29がさり夜があけると、八王子の中心部は焼け野原でした。市役所、学校、商店、お寺、神社、民家など、一夜にして灰になってしまったのです。自分の家がどこにあったのかすら、わからなくなったといいます。

八王子空襲は、八王子市街地の 80%以上が焼けてしまう、とても大きな空襲でした。この空襲で亡くなった人は約450名、ケガをした人はおよそ 2,000人、焼失家屋は 14,000戸以上となりました。焼け跡にたつ人は、ただぼうぜんとしていたそうです。犠牲者の中では、子ども、女性の割合が多かったそうです。

長かった戦争が終わろうとしていたわずか2週間前のできごとでした。

## 調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。市内のどの図書館に所蔵しているかは館内OPACで検索、または職員へおたずねください。

※☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

**『八王子の歴史と文化』　八王子市郷土資料館／編　1987年**

先史時代から近代までの歴史。図版や写真が多い。

☆**『こども歴史シート』　八王子市郷土資料館／編　1994年**

こどもから質問の多い事柄について、やさしくまとめたシート。

**『戦争と人びとのくらし』　八王子市郷土資料館／編　1995年**

昭和6年から昭和20年まで年表と写真で紹介。

**『焼け跡からの出発　市民の記録した戦後の八王子-渕上 明の写真から①-』**

**八王子市郷土資料館／編　2006年**

敗戦直後の八王子の様子と復興の過程を写真で紹介。

☆**『郷土みてある記』　八王子市生活文化部広報課／編　1995年**

小学校の先生が、八王子の歴史や関係の深い人物や動植物、事柄を小学生にもわかるようにやさしく解説したもの。

**『八王子の空襲と戦災の記録　市民の記録編・資料編・総説編』**

**八王子市郷土資料館／編　1985年**

八王子空襲の体験記から、戦災の状況まで詳細な記録があり、もっとも詳しい資料。

☆**『八王子空襲』　八王子市郷土資料館／編　2005年**

八王子空襲について、コンパクトにまとめられたブックレット。

☆**『フィールドワーク浅川地下壕』 浅川地下壕の保存をすすめる会／編　2005年**

浅川地下壕と八王子の戦争遺跡をわかりやすくまとめたもの。

実際に戦争や空襲を体験された方達の体験記も、図書館にはたくさんあります。読んでみましょう。

編集・発行　八王子市中央図書館　平成18年(2006年)10月
令和3年(2021年)12月
令和8年(2026年)一部改訂